

放課後等デイサービス自己評価 結果報告 (令和3年3月)

放課後等デイサービス心風

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標 工夫している点等
環境体制整備	1	利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動ごとにエリアを分けたり、活動によっては別室で行っている。</li> <li>・1フロアのため複数の活動を同時に行う場合は、活動内容によって場所を決めている。</li> <li>・活動ごとに場所を分けて有効活用している。</li> </ul>
	2	職員の配置や専門性は適切か	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人数に対して多めに職員を配置出来ており、各職員が児童指導員(二年以上児童福祉事業に従事している者が取得できる任用資格)を取得している。</li> <li>・職員に合った研修を受け、日々専門性を高めている。</li> <li>・管理者やリーダーが同じ活動の担当にならないよう工夫している。</li> </ul>
	3	事業所の設備等は子どもの障害への配慮が適切にされているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障害の子どもに合わせたステップ台や見通しを持つための個人スケジュールボードを設けている。</li> <li>・現在の車椅子よりもグレードの高いものの購入を検討中である。</li> <li>・段差の少ない環境であり、玄関等の高めの段差がある箇所についてはステップ台と手すりを設置している。</li> </ul>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のミーティングで子どもの様子を共有し、緊急性のあるものはその場で話し合い、猶予のあるものは職員会議にて話し合いを行っている。</li> </ul>

業務改善					<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後のミーティング等、一人ひとりが発言出来ている。</li> <li>・毎週、職員会議があり、子どもの様子を共有しているが、他業務との兼ね合いで職員会議の参加者が少ない場合は別日に設定している。</li> </ul>	
	5	保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善につなげているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回アンケートを行い、その結果を職員で共有し、結果を真摯に受け止め改善に繋げさせて頂く。</li> <li>・アンケート結果を職員会議で共有・上司からの説明がある。</li> <li>・苦情等があればすぐに報告があり、即座に改善出来るよう努めている。</li> </ul>	
	6	この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにて公開している。</li> <li>・ホームページに公開しているだけでなく、保護者が望まれた場合は書面で渡している。</li> </ul>	
	7	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	20%	40%	40%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意見や外部講師の意見を頂き改善に繋げている。</li> <li>・実施されているのか分からない。(今後、新人職員にも行っていることを周知していく。)</li> </ul>
	8	職員の資質の向上を行う為研修の機会を確保しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内研修だけでなくキャリアや専門性に合わせた外部研修にも参加してもらっている。</li> <li>・コロナ禍ではあったが、リモート等を使い研修を行えた。</li> <li>・コロナ禍でも受けられる研修はチェックし、出来る限り受講している。</li> </ul>	

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との面談を行い、その上で必要に応じ支援計画に挙げる事になっている。</li> <li>・支援会議を定期的に行っている。</li> <li>・支援計画を作成する際は、必ず保護者面談の後にし、次期の目標を立てている。</li> </ul>
	10	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者にも協力して頂き、チェックシートに答えて頂いている。</li> <li>・子どもの様子によっては、強度行動障害のツールを使用し支援を行った。</li> <li>・始めはどのような子なのか知るために見る。</li> </ul>
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごとの活動プログラムの立案は個人が計画を立てているが、困難が生じた時には相談し合いながら行い、個人が立ててくれた計画をチームで見直しをして、共有と修正を行っている。</li> <li>・話し合いながら行っている。</li> <li>・全員が個人で日ごとの活動プログラムを立案するが、見直しはチームで行っている。</li> </ul>
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度の活動で楽しさを感じ取れる子ども達ばかりではないので、同じ活動を繰り返し行う事はあるが、少しずつの変化を加えている。</li> <li>・過去の活動プログラムを見ながら活動を立てている。</li> <li>・活動プログラムの立案者の個性により毎日変化がある。</li> </ul>
	13	平日、休日、長期休暇に応じ、課題を決め細やかな支援を行っているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇中の利用時間でしか出来ないものを活動に取り入れている。</li> <li>・休日にしか出来ない支援があれば積極的に行っている。</li> </ul>

適切な支援の提供

14	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども個人個人に合わせた支援計画を立て活動に取り組んでいる。</li> <li>・集団活動の参加が苦手な子どもがいれば、集団活動の時間に個別支援を行う事もある。</li> </ul>
15	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のミーティングにて当日の活動の打ち合わせを行っている。</li> <li>・朝のミーティングで読み合わせを行っている。</li> <li>・朝のミーティングで当日の活動と子どもの支援計画のねらいのチェック、前回利用日の様子を振り返っている。</li> </ul>
16	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後のミーティング時に1日の振り返りを行っている。</li> <li>・良い所も伝え合っていると良い。</li> <li>・日々、支援記録を記入し、特記事項も全員で共有している。</li> </ul>
17	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証改善につなげているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の支援終了後に個別の支援記録をとり、次回利用日の朝のミーティング時に支援記録の読み合わせを行っている。</li> <li>・支援記録を朝のミーティングで読み合わせ、気になる点については話し合っている。</li> <li>・全員の様子を記録する事は難しいが、気付いた事は口頭でも共有出来るようにしている。</li> </ul>
18	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後のミーティングにて、子どもの様子を共有し、必要に応じて支援の変更を行っている。</li> <li>・支援会議で支援計画に沿った活動を話し合っている。</li> </ul>

適切な支援の提供					<ul style="list-style-type: none"> <li>・半期ごとに支援計画を作成しているが、子どもの様子に合わせてすぐに変更する事もある。</li> </ul>
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の際に出てくる「子どもの思い」を大切にしながら、遊びの中でSSTを心掛けている。</li> <li>・ガイドラインを読んでいる。</li> <li>・活動プログラムは、ガイドラインに沿っておおよそ組まれているが、自分自身がガイドラインを意識する事があまり無かったので改善したい。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	20	学校との情報共有（年間予定下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等）を適切におこなっているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から連絡を受けている。</li> <li>・子どもの様子等で気になる事があれば直接聞くようにしている。</li> <li>・学校との情報共有（年間予定下校時刻の確認等）は行えていないが、子どもの学校での様子は必ず確認している。</li> </ul>
	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者が参加している。</li> <li>・参加した事が無いので詳しい事が分からない。(学校を巻き込んだ会議などは、子どもの受け入れ時間での開催が多いため複数人が参加することは難しいが、今後1人ずつ参加していけるようにしていきたい)</li> <li>・実際に子どもを支援している者が参加している。</li> </ul>
	22	就学前に利用していた保育園児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に合わせて連絡を取り合い、必要によっては訪問させて頂いている。</li> <li>・情報共有は出来ていると思うが、手段については分からない。</li> </ul>

関係機関や保護者との連携

23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、学校卒業に伴い事業所を卒業した子どもが1名のみであり、情報提供には至っていないが、今後は行っていきたい。</li> </ul>
24	支援困難なケースでは専門機関と連携し助言や研修を受けているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による研修・アドバイスを頂いている。</li> <li>・直接ではなくても保護者を通じて専門機関の助言を頂く事もある。</li> <li>・保護者から、子どもに関わる医師・看護師のアドバイスを伺いし、対応を考えた事もある。</li> </ul>
25	利用者以外の子どもと関わる機会はあるか	60%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お出掛けをした際に地域の子どもと関わる機会や、法人主催の運動会の際にご兄弟と関わる事がある。</li> <li>・法人の行っているセカンドステップ講座にて法人内の他事業所の子どもと時々会う。</li> <li>・公園に遊びに行く時や、法人主催の運動会等で関わる機会がある。</li> </ul>
26	自立支援協議会へ積極的に参加しているか	80%		20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催される時には参加している。</li> <li>・開催されているか分からない。(今後、新人職員に行っていることを伝えていく。)</li> </ul>
27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の送迎時に保護者へ子どもの様子を伝え、必要によっては聞き取りや相談を行っている。</li> <li>・送迎時や連絡帳を通じて保護者との伝え合いを大切にしている。</li> <li>・コグトレの内容を共有し、家庭でも同様の関わりが持てるように伝えている。</li> </ul>
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペ	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向けの研修や保護者参加のセカンドステップを</li> </ul>

	アレント・トレーニング等の支援を行っているか				<p>行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向けの研修も行っている。</li> <li>・親の会による外部講師の勉強会を行っている。</li> </ul>	
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に行っている。</li> <li>・新しい支援を行う時は、理由も説明している。</li> </ul>
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・その場で答えられるものには回答し、自分一人では答えが出せないものは持ち帰らせてもらい、後日回答させて頂いている。</li> <li>・個人の判断で返答しないようにしている。</li> <li>・功を奏した支援の方法があれば伝えるようにしている。</li> </ul>
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の会の活動のサポートを行っている。</li> <li>・親の会が開催している。</li> <li>・親の会では、保護者の子どもへの理解を深められるように外部講師を招き勉強会を行っている。</li> </ul>
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情があった際には真摯に受け止め、職員間で共有し改善に努めている。</li> <li>・苦情があった際は、申し出者の名前を伏せる等配慮された上で職員に苦情の内容が伝えられ、改善するよう努めている。</li> </ul>
	33	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月お便りを配布している。</li> <li>・月1回必ず発行している。</li> <li>・毎月お便りを発行しており、前月の活動の様子や次月の活動の予定は必ず記載している。</li> </ul>
	34	個人情報に十分注意しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部に情報提供する時には保護者に許可を頂いたり、子どもの名前をイニシャルにす</li> </ul>

保護者への説明責任等					<p>る等、配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デスクの上に個人情報が記載された書類等を置きっぱなししない。</li> <li>・保護者に活動の様子を伝える際にも、他の子どもの名前は出さないように心掛けている。</li> </ul>	
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ずつに合わせたコミュニケーション方法を職員間で共有している。保護者とは、連絡帳の活用・管理者業務用携帯電話番号を周知し電話やメールでも連絡出来るようにしている。</li> <li>・子どもに合ったツールを用いている。</li> <li>・シンプルで分かりやすい単語を使うように心掛けている。</li> </ul>	
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人主催の地域交流カフェを月1回開催している。</li> <li>・地域交流カフェ開催の際、地域の方も招いている。</li> <li>・地域交流カフェでは地域の方も食事が出来る。</li> </ul>	
非常時の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%		20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議で読み合わせをしている。</li> <li>・保護者には詳しくは周知出来ていない。</li> <li>・職員間では職員会議で感染症マニュアルを共有し、保護者向けにコロナ感染防止対策マニュアルを配布している。</li> </ul>
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に行い、お便りに様子を掲載している。</li> <li>・年3～4回の訓練や、職員のみ訓練を行っている。</li> <li>・活動プログラムに避難訓練を取り入れ実施している。</li> </ul>
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内研修や外部研修ともに行っている。</li> </ul>



非常時の対応		な対応をしているか				<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止マニュアルの読み合わせを行っている。</li> <li>・虐待防止に関する内容の研修を受けている。</li> </ul>
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に説明を行っている。</li> </ul>
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は医師の指示書がある子どもは在籍していない。</li> <li>・保護者からの情報は共有している。</li> <li>・アレルギーは必ず把握しており、対象の子どもへ対応している。</li> </ul>
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議で事例を出してもらい、職員で話し合い共有している。</li> <li>・職員会議で必ずヒヤリハットを報告している。</li> <li>・職員会議で1人ずつ事例を発表している。</li> </ul>
	43	身体拘束を行った場合の必要な記録を取る為の様式が用意されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・様式はあるが、使用した事は無い。</li> <li>・やむを得ず行った際は状況を伝え、特記事項に載せている。</li> </ul>
	44	遊具・施設等の安全点検を定期的に行い必要な措置がされているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間の中で、点検を行う曜日を設けている。</li> <li>・職員でも確認している。</li> <li>・劣化したものは定期的に修繕・交換している。</li> </ul>